

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2023年 11月 2日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要








企業・団体名	株式会社 金沢港運
所在地	〒920-0332 石川県金沢市無量寺町リ65番地
代表者役職・氏名	代表取締役社長 堀岡 修次 (ほりおか しゅうじ)
担当者連絡先	電話：076-268-1811
	メール：soumu4@kounknz.co.jp
ウェブサイトURL	http://www.kounknz.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要


















金沢港は、1963年(昭和38年)三八豪雪により陸上交通がほぼ完全に途絶えたことから築港され、弊社は、1969年(昭和43年)に設立し、翌年1970年(昭和44年)の金沢港の開港以来、地域の生活を守るという使命のもと、港湾運送事業、倉庫業、貨物利用運送事業、通関業、船舶代理店を営んでおります。

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
□環境 ✓社会 ✓経済	作業前のKY(危険予知)活動 定期的な安全パトロールを実施 安全衛生委員会の開催	作業前のKY(危険予知)活動により重大労働災害の発生件数ゼロを継続する。
□環境 ✓社会 ✓経済	年1回の定期健康診断の受診率100% 一定の時間外労働を行った従業員に対し、 産業医面談を実施	年1回の定期健康診断の受診率100%の継続 一定の時間外労働を行った従業員に対し、 産業医面談の実施を継続する。
✓環境 □社会 ✓経済	環境負荷を意識した荷役機械を導入し、CO2 排出量を削減する。	省エネ荷役機械の導入・更新によりCO2排出量 の削減を推進する。

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
1 人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している					5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	ハラスメント防止のため、管理職向け研修を実施している。 相談窓口を設置している。				5.1 5.2 5.5				8.5 8.8								16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	残業時間を管理し、過重労働防止に取り組んでいる。								8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している				4.4					8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	作業管理者による毎日のパトロール、安全衛生委員による定期的なパトロールを実施し安全衛生委員会で報告・改善に努めている。事故発生の場合、直ちに対策会議を実施し、原因究明及び対策を立て、再発防止に取り組んでいる。				3				8									
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	年1回ストレスチェックを実施している。 一定の時間外労働を行った従業員に対し産業医による面接指導を行っている。				3													
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる					5.1 5.5				8.5		10.2 10.3							
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	業務上必要な免許・資格の取得費用を会社が全額負担している。 保稅・通関研修を定期的実施している。				4	5.5			8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している					5.5				8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	年1回の定期健康診断の実施し、有所見者に受診勧奨している。 インフルエンザ予防接種の費用を会社が負担している。				3				8									
11 環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	安全面に配慮しつつ再生タイヤ(エコタイヤ)の利用を促進している。											11.6 12.4 12.5		14.1				
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている									7.3					13				

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	フォークリフト、RTGなどハイブリッド型の荷役機械を導入する事により、低燃費での作業実現、CO2排出量削減にも寄与している。 2023年にはカーボンニュートラル対応型RTGを導入。								7.2 7.3			12.4	13.3					
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる				3.9				6.3				11.6	12.4					
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している								6.6							15			
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる								6.4 6.6										
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している				3.9				6	7			12	13.3	14	15			
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している												12.6						
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる									7.2				13					
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる												12.2	13	14	15			
製品・サービス	21 【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	安全対策として、業務手順書、荷捌場監視カメラ、ドライブレコーダー等の整備に取り組んでいる他、継続的に安全対策会議を行っている。			3.9								12.4						
	22 【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	コンテナ搬出入受付を事前登録及びQRコードを利用したセルフ受付にする事により、手続き時間の削減を行っている。																9	
	23 【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	フォークリフト、RTGなどハイブリッド型の荷役機械を導入する事により、低燃費での作業実現、CO2排出量削減にも寄与している。 業務システム強化、グループウェア導入等により移動削減、ペーパーレス化を推進している。								6				12	13	14	15		
	24 【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	コンテナ搬出入ゲート状況をライブカメラによるリアルタイム展開する事で、渋滞・混雑緩和に寄与している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献	25 【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	HPや電子メール等を利用し、冬季積雪時の除雪状況・搬出入ゲート営業時間を適宜開示している。				4							9	11	12		14	15	17

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																					
26 地区・地域貢献	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	みなとフェスタ開催(ガントリークレーン見学)にボランティア参加の他、地域経済団体等の港湾視察なども協力している。				4								11			14	15			17
27	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している									8	9		11	12	13						

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地： 石川県金沢市無量寺町165番地

名称： 株式会社 金沢港運

代表者： 代表取締役社長 堀岡 修次

登録年月日： 令和5年12月22日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
□環境 ✓社会 ✓経済	作業前のKY(危険予知)活動 定期的な安全パトロールの実施 安全衛生委員会の開催	作業前のKY(危険予知)活動により重大災害の発生件数ゼロを継続する。	2023年12月より2024年12月まで重大災害の発生なし。
□環境 ✓社会 ✓経済	年1回の定期健康診断の受診率100% 一定の時間外労働を行った従業員に対し、産業医面談を実施	年1回の定期健康診断の受診率100%の継続。 一定の時間外労働を行った従業員に対し、産業医面談の実施を継続する。	定期健康診断受診率100%の継続推進中。 一定の時間外労働を行った従業員に対し、産業医面談の実施継続推進中。
✓環境 □社会 ✓経済	環境負荷を意識した荷役機械を導入し、CO2排出量を削減する。	省エネ荷役機械の導入・更新によりCO2排出量の削減を推進する。	2023年に省エネ荷役機械1台導入。